

### 「セーフティーネットとしてのベーシックインカム」

皆さん、ベーシックインカムでいきませんか？いきなり、カッコいい言葉を書きました。ベーシックインカムとは、国民1人あたり、例えば、7万円を無条件に国からキャッシュバックする制度です。その代わり、失業保険、生活保護、年金すべて無しです。つまり、国の税金の一部を国民各人（勿論、子供もです）に無条件にある一定額（例えば7万円）戻す制度です。

みなさん、年金積立金、失業保険金、税金をいくら払っているか？そしてそれぞれ将来いくらもらえるのか？その根拠は？に答えられますか。私は正直答えられません。なんか複雑な計算でえらい取られてる、なんかわからんがいくらもらえる、くらいの認識です。これっておかしいですか？役所が国民から適当に取って、適当にお返ししてくれている感じです。自分が働いたお金、もらえるお金、が役人の言い値でブラックボックスのように決められているといった言い過ぎでしょうか。悪く考えると、年金、税金等については、複雑で良く分からない制度をわざと作って、欲しいだけ、払えるだけ、役所が決めているように思いませんか。今の複雑な年金、税金、生保制度を維持するために、役人の数が増え、システム維持費がよりかかっているはずです。結果としてこれは人件費、システム維持費として、国民の税金にはね返ってくるでしょう。あと、生保についても、もちろん必要な人がほとんどだと思いますが、適切でない例もあるような報道があり、何となく不公平感がありませんか？

私はまだ政治家ではありませんが、基本的に評論家的立場をとりたくありません。従って、国のやることにいちやもんをつけて、民進党の蓮舫さんや辻本さんのようにどや顔をしたいわけではありません。制度を単純、誰でも理解できるようにして、公平な制度にしたいのです。単純な制度は、理解しやすく、国民のチェックがかけやすくなり、より公平性が保たれ、国民も納得しやすくなります。ベーシックインカムで必要な支出が分かりやすくなれば、国民からとるべき税金の額も今よりも明確になり、役所の言い値で税金を取られずらくなるとも思います。さらに、制度に必要な役人の数、システムの維持費等が少なくて済むようになり、結果、税金が少なくなります。あと何よりも、公平で確実なセーフティーネットになります。もう1つ派生的はメリットとして、子供を増やすと1人当たり7万円の収入があり、出生率の向上にも寄与するのは、とも思うのです。

政治の目的は、公平なスタート、自由な競争、セーフティーネットの充実の3つだと思っています。公平なセーフティーネットの充実のためにも、私は、日本にベーシックインカムの導入を提案します。

（税金については、収入も支出ももっと分かりやすくしなくてははいけません。ここでは税金の支出の一部である厚生関係のみについて述べましたが、さらに後日述べる予定ですが、課税制度も今よりもわかりやすい制度にするべきだと思っています。）